

新型コロナウイルス抗体検査（定量）

【SARS-COV-2 IgG II 定量検査】



新型コロナウイルス ワクチン
接種後に、抗体検査を受けませんか？

新型コロナウイルスワクチン接種後の
抗体保有や感染歴の有無を調べる血液検査です。

本抗体検査が有用と思われる方

- ・ワクチン接種後の抗体獲得状況を知りたい方
- ・ワクチン接種後の抗体持続性を確認したい方（接種半年や1年後等）
- ・これまで自覚症状がなく健康であったが、以前に新型コロナウイルスに感染したことがあるかどうか知りたい方

本抗体検査の有用性は低いと思われる方

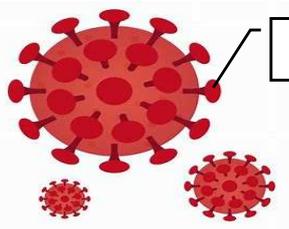
- ・ワクチン接種後1週間以上経過していない方
 - ・1週間以内に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、発熱、咳等の自覚症状のある方（自覚症状のある方は、各都道府県の相談窓口へご相談下さい）
- ※ これらの方は、抗体産生が十分に出来ていない可能性があるため、正確な判断ができません。

抗体検査について

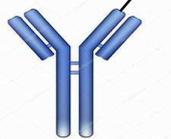
抗体検査とは	: 目的とするウイルスの抗体が生体内に存在するかを調べる検査です。
定性結果	(+) : ワクチン接種後に抗体を獲得している可能性が高い 又は以前に新型コロナウイルスに感染していた可能性が高い (-) : ワクチン接種後に抗体を獲得していない可能性が高い 又は以前に新型コロナウイルスに感染していない可能性が高い
抗体価	: 獲得した抗体の量を示し、一般的に抗体価が高いほど感染や重症化が起こりにくくなります。 新型コロナウイルスの抗体価についても同様の効果があると期待されています。
検体	: 健診時の採血で検査ができます。

新型コロナウイルスのワクチンについて

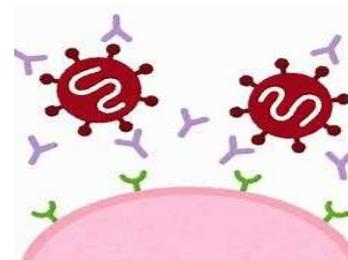
・日本で現在使用されている新型コロナウイルスのワクチンは、主に”mRNAワクチン”です。
mRNAワクチンを筋肉内に注射投与すると、ウイルスの蛋白質を作る基になる情報(設計図mRNA)から、体内でウイルスの蛋白質(S蛋白)に対する抗体(中和抗体)が産生されます。



S蛋白



中和抗体



※中和抗体とは : 新型コロナウイルスのS蛋白がヒトの細胞と結合することでウイルス感染が起こります。
中和抗体は、このS蛋白がヒトの細胞に結合するのを阻止することで、新型コロナウイルスへの感染や重症化を防ぐ効果が期待されています。

抗体価の目安

ワクチン1回接種後の中央値 : 1,000 AU/mL程度

ワクチン2回接種後の中央値 : 22,461 AU/mL程度

50 AU/mL	2150 AU/mL	3200 AU/mL	4160 AU/mL	6350 AU/mL
抗体有無のカットオフ値	確率80%	確率90%	確率95%	確率99%

4160AU/mLを超えると、
100人中95人(95%)の確率でウイルスから身体を守る十分な抗体があると考えられます。

上記に示す抗体価は目安となりますので、結果の参考としてご使用ください。

アボットジャパン合同会社 添付文書より

抗体価が4160AU/mL以上あったとしても、今後感染しないとは言いきれません。

新型コロナウイルスの抗体価の推移については明らかでない部分が多いため、引き続き感染防止に努めて下さい。

自覚症状のある方は各都道府県の相談窓口へご相談下さい。